

平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 国際ボランティアセンター山形

1 事業の実施と成果に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業の種類 ／事業名	事業内容	実施 日 時	実施 場 所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
アジア地域等の 困窮した状況 に対する迅速 かつ適切な協 力活動 ／カンボジア王 国スバイリエ ン州野菜供 給・流通シス テムの構築事 業	<p>【内容、成果】</p> <p>本事業は JICA とのパートナー事業として2年目にあたる。</p> <p>1) 野菜出荷組合が58村の約900名（13年目、2年目合計）の農家によって設立され、組合よりホテルへの出荷が週2回行われている。組合の銀行口座に直接顧客から送金されるようになり、組合の運営委員が自立心を持って運営に取り組んでいる。</p> <p>2) 農業研修を野菜出荷組合結成1年目の20村にて行った。GAP手法を通じた農薬や化学肥料の記録管理を指導した。</p> <p>3) 女性組合生産者協会は、首都における無農薬野菜販売は、I V Y スタッフの同行は1名のみ、経費は協会が全て負担となり、経済的自立度が高まった。しかし首都の店舗への販売などは不定期で課題が残る。無農薬の認定のために、認定協会から研修を受け、内部監査システムを導入し始めている。</p> <p>4) スバイリエン州の農業・農村開発分野で活動する団体が諮問委員会（アドバイザーミーティング）を組織し、ほぼ毎月、お互いの活動報告や情報・意見交換を行い、連携を深めている。</p>	平成22年 4月1日～ 平成23年 3月31日	カンボジア王国 スバイリエン州ス バイチュルン郡、 スバイティエップ 郡、コンボンロー 郡、スバイリエン タウン内の58村	20人	対象地域の58村 900世帯の農家	17,368
アジア地域等 の困窮した状 況に対する迅 速かつ適切な 協力活動 ／カンボジア 王国スバイリ エン州村の女 性の起業支援 事業	<p>ILO（国際労働機関）とのパートナ ー事業として「女性工場労働者の経 済的エンパワーメント」（2011年2月 ～12月）事業の一部を委託。専用 に2名スタッフを増員した。</p>	平成23年 2月～3月	カンボジア王国 スバイリエン州ス バイチュルン郡の 2村	2人	対象地域の女性 約100名	394

地方都市における多文化理解を高めるための講座等の企画運営事業／カンボジアスタディツアー事業	【内容、成果】 I V Y youthのカンボジアでの活動のサポート（8月、2月の2回）と重なり、公募によるツアーの実施は見送った。12月に食とみどり・水を守る山形県北部地区労農市民会議（村山市）訪問団、2月に天童西ロータリークラブ（天童市）、JICAパートナーシップセミナー他の訪問を受け入れた。	平成22年4月1日～平成23年3月31日	カンボジア王国 スバイリエン州、プノンペン特別市、シエムレアップ州	5人	11人	400
山形県内で定住を目指す外国人等とその家族に対する適切な医療援助、並びに医療通訳の養成及び紹介事業／外国人生活相談事業	外国人や家族、行政からの夫婦、家庭問題、交通事故等の相談68件に相談員が回答した。	平成22年4月1日～平成23年3月31日	日本国内	8人	68人	91
山形県内で定住を目指す外国人等とその家族に対する適切な医療援助、並びに医療通訳の養成及び紹介事業／通訳養成事業	1) 法律勉強会（県弁護士会より講師派遣協力） ①7/27 村山地区法律（山形市）テーマ：刑事事件の流れ/改正貸金業法について 講師：伊藤陽介弁護士 ②9/16 庄内法律勉強会（鶴岡）テーマ：家族法について 講師：日詰直史弁護士 ③10/14 最上地区法律勉強会（新庄）テーマ：相続について 講師：瀧澤弁護士 2) 中国語通訳学習会 9回実施 【内容】中国の教育・中国で起きた一連の幼稚園での殺傷事件・ワクチン接種・医療アンケート自由回答検討・結核・入管法改正・継承語教育・通訳の心構え・日中台の死生観・大人のアトピー性皮膚炎・相続/年金・中文道報記事「就活体験記」「法律扶助制度」・中華民国100年等	平成22年10月3日	山形市、鶴岡市、新庄市	8人	1)15名 2)47名	57
山形県内で定住を目指す外国人等とその家族に対する適切な医療援助、並びに医療通訳の養成及び紹介事業／医療通訳調査事業	09年度に実施した医療機関への外国人患者への対応アンケートの報告書をアンケートに回答いただいた医療機関へ送付した。また、8/30、県国際室を訪問、医療通訳推進のため関係者による話し合いの場を設けて欲しい旨要望した。	平成22年7月1日～8月30日	山形県	8人	山形県内の医療機関約200	46
山形県内で定住を目指す外国人等とその家族に対する適切な医療援助、並びに医療通訳の養成及び紹介事業／通訳翻訳事業	通訳派遣件数 69件（司法49件、医療・保健13件、その他7件） 翻訳件数・・・22件【中4 英11 韓5 タイ1 タガログ1】	平成22年4月1日～平成23年3月31日	日本国内	8人	91人	635

<p>山形県内で定住を目指す外国人等に対する日本語学習支援及びボランティアの養成事業／就労支援事業</p>	<p>仕事を求めている外国人出身者への情報提供や日本語講座等を行い、職を得ることができるよう支援する事業。</p> <p>①就労支援セミナー6/26 会場：山形市 講師：松田清氏（IVY理事・山形経営品質研究会）</p> <p>②雇用保険制度学習会11/4 会場：山形市 テーマ：「山形県の外国人労働者の状況及び雇用保険制度学習会」 講師：山形労働局職業安定部職業安定課 課長補佐 渡辺正氏/雇用保険監察官 遠藤滋氏</p> <p>③外国人のための就職面接会話講座 1月～2月全6回 会話練習に重点。途中から会話力のある受講者になったので、履歴書の書き方に重点を移し、面接での受け答えだけでなく、服装や立ち居振る舞いなども指導。</p> <p>◎昨年度、本講座受講生2人が、一般面接を経て就職。</p> <p>④外国人雇用に関する企業アンケート ◇対象企業 35社 【内訳】①IVY会員企業10社 ②社会貢献理解企業7社 ③蔵王温泉旅館など18社 ◇回収企業22社 ◇回収率：62.8%</p> <p>⑤第4回日本語スピーチコンテスト（上山市） 2月5日（土）発表者7名（韓国5、中国1、アメリカ1）来場者：約30名*今年度、仕事をテーマにした部門を設けたところ、2名が仕事を通して考えたことや異文化体験を話した。村山地区の複数の企業に来場案内を出したが、実際に足を運んでくれた企業はなかった。</p>	<p>平成22年4月1日～平成23年3月31日</p>	<p>山形市、上山市</p>	<p>9人</p>	<p>①13名（中国3、韓国5、日本5）</p> <p>②4名（ブラジル2 韓国1 日本1）</p> <p>③13名（韓国8、中国5）</p> <p>④35社</p> <p>⑤7名</p>	<p>475</p>
<p>山形県内で定住を目指す外国人等に対する日本語学習支援及びボランティアの養成事業／日本語教室運営事業</p>	<p>実施回数：38回（当初40回を予定したが、会場の工事・東日本大震災の影響で2回減）</p> <p>学習者：英国1名×4カ月、韓国4～8名×11カ月、タイ1名×3カ月、中国1名×2カ月</p> <p>行事：5月山寺見学（8名参加）、7月「学期末お茶会」、11月朝日町のダチヨウ見学（6名参加）</p> <p>その他：12月 上山駅前交番より年末の防犯について説明（車上狙いなど）</p> <p>*夏過ぎ頃から、通院治療、一時帰国、就職、旅行など学習者の動向が激しくなり、クラス学習が困難となる。個別の要望（漢字、検定対策）に対応するマンツーマン指導が増加。</p>	<p>平成22年4月1日～平成23年3月31日</p> <p>時間：毎週木曜 午前10時から2時間</p>	<p>上山市働く婦人の家</p>	<p>8人</p>	<p>11名 英国1名×4カ月、韓国4～8名×11カ月、タイ1名×3カ月、中国1名×2カ月</p>	<p>131</p>

<p>山形県内で定住を目指す外国人等に対する日本語学習支援及び日本語学習支援ボランティアの養成事業／母語教育事業</p>	<p>①楽しい子ども中国語教室 4/11～3/4 計27回実施 *5/30 第一回保護者会（参加保護者3名、スタッフ3名） *7/11 インカ中文教室との交流会 *11/16 新潟中国総領事より教科書贈呈（於AIRY） *12/17 クリスマス会 *1/23 山形県日中友好協会春節祝賀会に参加（生徒募集の広報をかねて、中国の歌の発表） ②南山形小学校：4回実施 中国切り絵等</p>	<p>平成22年4月1日～平成23年3月31日</p>	<p>山形市立北部公民館、東部公民館、南山形小学校</p>	<p>8人</p>	<p>小学生19名</p>	<p>154</p>
<p>地方都市における多文化理解を高めるための講座等の企画運営事業／地球子どもキャンプ事業</p>	<p>年間テーマ：気象 今年は夏キャンプも夏休み中に実施した結果、参加者が増えた。夏冬ともリーダーの工夫溢れるプログラムとなり、充実したキャンプとなった。</p>	<p>【夏】平成22年8月16日～17日 【冬】平成23年1月4日～6日</p>	<p>山形市少年自然の家</p>	<p>4人</p>	<p>【夏】小学生47人、大学生23人 【冬】小学生57人、大学生29人</p>	<p>3,074</p>
<p>地方都市における多文化理解を高めるための講座等の企画運営事業／ファシリテーター養成講座事業</p>	<p>テーマ：気象 講師は2回とも、秋田県地球温暖化防止活動推進センター事務局長 菊地格夫氏。当初、3回実施の予定であったが、別の講座、IVYyouth主催のイベントと時期が重なり、2回の実施となった。</p>	<p>1) 8月6日 2) 10月30日～31日</p>	<p>1) 山形大学 2) 山形市少年自然の家</p>	<p>3人</p>	<p>1) 12人 2) 20人</p>	<p>272</p>
<p>地方都市における多文化理解を高めるための講座等の企画運営事業／ワークショップ出前授業事業</p>	<p>仙台市内の学校からの要請が多く、仙台国際交流協会、JICA仙台デスクと合同で勉強会を開催し（4回）、学校へ出向いた。（主な派遣先は以下の通り） ●仙台二華中学校1年生3クラス 6月2日、26日、 ●仙台市立南吉成中学校3年生3クラス 10月11日、12月各月1回 計4回</p>	<p>平成22年6月～平成23年2月</p>	<p>山形県、宮城県</p>	<p>3人</p>	<p>約540人</p>	<p>9</p>
<p>アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動／カンボジア王国スパイリエン州算数教育支援事業</p>	<p>【内容・成果】 カンボジアの小1用の算数ドリル上巻作成。アンケート小に上巻9月、下巻2月に100ずつ贈呈を行い、それまで不足していた算数教材をカンボジアの子どもたちに提供することで、算数の学力アップを図った。子どもたち、先生からも好評である。 ・8～9月と2～3月に2回、メンバーが調査やスパイリエン州教育局との交渉のため渡航した。教育局から正式にドリルの学校での使用について認可が下りた。これから2学年のドリル作成と対象校の拡大を行っている。 ・また、この事業のための、途上国の教育について学ぶ学習会も3回、実施された。</p>	<p>平成22年4月～平成23年3月31日</p>	<p>カンボジア スパイリエン州スパイリエン郡チュエール地区アンケートサット小学校 仙台市、山形市</p>	<p>15人</p>	<p>70人</p>	<p>1,256</p>

<p>アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動／東北広域震災NGOセンター事業</p>	<p>【内容・成果】3月11日に発生した東日本大震災の支援のため、3月14日にセンターを設置し、15日より名取市での炊き出し、物資配達等の支援活動を実施した。また、病棟の崩壊により患者を避難させ、人手を必要としていた柴田町の仙南病院へは物資の他、ボランティア派遣を行った。また、17日からは高速道路の使用許可が下りたことから、宮城県北部へも物資配達を拡大。物資不足で困窮する石巻市、東松島市、女川町、南三陸町の避難所へ、人々のリクエストに応じて、食料や生活物資を配達し、きめ細かい対応、新品、確実に配達してくれるなどが喜ばれた。</p>	<p>平成23年3月14日～3月31日</p>	<p>石巻市、東松島市、南三陸町、女川町、</p>	<p>約50人</p>	<p>20000人</p>	<p>3,190</p>
<p>関連団体及び関係する県内、国際機関との情報交換、連絡調整及び協力、並びにこの法人の目的にかなう事業を行っている他団体に対する助成援助／NGO相談員事業</p>	<p>【内容・成果】外務省からの委託事業。今年度は3月に震災関係の問い合わせが多かったため（126件）、年間相談件数は600件近くになった。ネットワークNGOとしての活動では、 1) IVYyouth 組織化へのバックアップとカンボジア事業、学習会、国際理解教育等についての助言を行った。 2) ネットワーク化 地域国際化推進フォーラム 12月4日於：仙台市 参加者数99名 東北国際協力ユースフォーラム第3回開催 12月5日於：仙台市 学生参加者数 47名 3) 東北各地のイベントへの参加 秋田アフリカフェスティバル（7月）、せんだい地球フェスタ（7月）、地球市民フェスティバル（9月）にIVYyouthとともに出展し、PRと募金に務めた。 また、NGOインターン・プログラムの実施。1名をインターンとして雇用し、IVYの広報関係業務（HPの改訂、広報ツールの新規作成など）を中心に従事してもらった。また、山形大学3名、東北公益文科大学1名をインターンとして受け入れた。</p>	<p>平成21年5月1日～3月31日</p>	<p>東北6県、東京都、兵庫県、大阪府、</p>	<p>4人</p>	<p>約750人</p>	<p>3,154</p>

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
世界各地の手工芸品、食料品等の販売 ／ アジア手工芸品の販売事業	現在はカンボジアの女性の自立に協力するため、「チャリヤ」という団体が主な仕入れ先となっている。大正館（宮城県大崎市）、名月荘（山形県上山市）に委託販売し、約9.8万円の売り上げがあったが、経費が例年手間と経費がかさんでいるため、次年度は休止となった。	平成22年4月1日 ～平成23年3月31日	山形市、上山市、大崎市	2人	108
日本語学習教材の出版販売 ／ ハングルを使う人のための生活漢字テキストの販売事業	5冊の販売にとどまった。 次年度は休止。	平成22年4月1日 ～平成23年3月31日	山形市当団体事務所	2人	17